

## [ 江別市 ] 施策達成度報告書

政策 02 明日につながる産業の振興

施策 01 都市型農業の推進

主管課 農業振興課

## 施策の環境変化と課題

施策の環境変化 (22年度)	施策の課題 (22年度)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・農地・水・環境保全向上対策 (H19)</li> <li>・戸別所得補償モデル対策実施</li> <li>・江別市食育推進計画の策定 (H23-25)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業経営の安定</li> <li>・農業者の高齢化、後継者、担い手問題</li> <li>・グリーン・ツーリズムの取組みへの支援</li> <li>・食育の推進</li> <li>・農商工連携の強化</li> <li>・農地・水・環境保全向上対策の推進</li> <li>・情報発信の強化</li> </ul>

## 施策の目的

担い手を育成確保し新たな技術や経営方法を積極的に取り入れるなど、従来の農業生産のあり方を見直し改善することによって、農業産出額の維持・向上を図ります。

## 対象 (誰を対象とした指標か)

市民、農業者

## 意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

生産額が向上する。

## 施策の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

施策の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
農業産出額	百万円	6,140				6,200

## 施策の達成状況 (22年度)

現在、市町村別の農業産出額の統計数値は発表されていませんが、都市型農業の特徴を活かした収益性の高い集約型農業を推進し、農家所得の安定を図っていきます。

施策事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度当初予算
トータルコスト(千円)	476,770	616,068	551,477
事業費(千円)	339,846	491,541	418,695
人件費(千円)	136,924	124,527	132,782

## 01 担い手の育成 確保

## 基本事業の目的

新規農業参入者や農業法人を補助・育成したり、情報化や高度技術化に対応する人材を確保することにより、世襲以外にも農業に取り組む人を確保し、継続できる農業経営にします。

## 対象 (誰を対象とした指標か)

農業者、後継者及び新規参入者

## 意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

- ・継続できる農業経営にする
- ・就農者の確保をする

## 基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
農家戸数	戸	550	502	483		550
新規就農者数 【初期値(H19) 前期4年間 14人(累計)】	人(累計)	-	9	14		20
農業生産法人数	団体	34	41	44		40

## 基本事業の達成状況 (22年度)

農家戸数、農業者数は減少していますが、担い手への農地の集積は進んでいます。農業生産法人数は漸増しており、事務事業の成果については、ほぼ順調に推移していると考えます。

基本事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度当初予算
トータルコスト(千円)	1,269	1,167	1,098
事業費(千円)	439	361	283
人件費(千円)	830	806	815

## 02 生産性の高い農業経営の確立

## 基本事業の目的

農地の流動化による経営規模拡大や、花き・野菜など小規模な面積でも収益性のある集約型農業を推進するとともに、地力や圃場条件を整え生産性を向上し所得の安定を図ります。

## 対象 (誰を対象とした指標か)

農業者

## 意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

生産性を向上し、所得の安定を図る。

## 基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
一戸当たり生産農業所得	千円	6,130	-	-		6,200

## 基本事業の達成状況 (22年度)

現在、平成22年に係る統計数値は発表されていませんが、都市型農業の特徴を活かした収益性の高い集約型農業を推進し、農家所得の安定を図っていきます。

基本事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度当初予算
トータルコスト(千円)	169,882	362,644	293,007
事業費(千円)	124,241	325,971	249,017
人件費(千円)	45,641	36,673	43,990

## 03 潤いと活力に満ちた農村の実現

## 基本事業の目的

農業地域の道路を整備したり水洗化や景観保全を進めることによって、衛生面等で生活環境の向上を図り快適な生活が送れるようにします。

## 対象 (誰を対象とした指標か)

農業地区住民

## 意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

生活環境(衛生等)の向上を図り快適な生活できる。

## 基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
農業地区が衛生的で、快適な生活環境だと感じる地区住民の割合	%	83.9	85.7	-		↗

## 基本事業の達成状況 (22年度)

成果指標は、隔年で全市的に実施されるアンケート調査によって把握するため、22年度は成果指標を確認できませんが、農村地域の衛生面等での生活環境は向上しつつあるといえます。

基本事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度当初予算
トータルコスト(千円)	132,172	128,345	133,270
事業費(千円)	106,032	99,732	109,646
人件費(千円)	26,140	28,613	23,624

## 04 農畜産物の付加価値化

## 基本事業の目的

江別産農畜産物のブランド化やイメージアップを図り、高品質で付加価値の高い商品にすることで新たな需要の拡大や市場での競争力を高めます。

## 対象 (誰を対象とした指標か)

江別産農畜産物

## 意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

市場価値が高く、ブランド化される。

## 基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
市場で付加価値の高い農産物の作付面積	ha	1,090	1,250	1,242		1,100
市場で付加価値の高い畜産物の飼養頭数	頭	614	705	663		630

## 基本事業の達成状況 (22年度)

市場で付加価値の高い農産物の内、江別が一大産地となっている小麦のハルユタカについては、その優れた品質から需要が多く、全国から求められるブランドとなっています。えぞ但馬牛については、飼養する生産者団体が農協の畜産生産部会だったものが、和牛生産改良組合として認定を受け、和牛産地として地位向上が図られております。また近年は、労働集約型作物としてブロッコリーの生産が伸びてきており、順調に推移されていると考えます。

基本事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度当初予算
トータルコスト(千円)	12,311	12,367	12,155
事業費(千円)	694	1,889	750
人件費(千円)	11,617	10,478	11,405

## 05 環境と調和した農業の推進

## 基本事業の目的

健康・安全志向などの消費者ニーズに対応し、有機・減農薬での生産や堆肥を使った地球にやさしい農業を行うことで、自然と共生した環境保全型農業を推進します。

## 対象 (誰を対象とした指標か)

農業者

## 意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

- ・有機減農薬での生産拡大する。
- ・堆肥などによる土づくりにより環境にやさしい土地をつくる。

## 基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
エコファーマー認定戸数	戸	19	143	152		50

## 基本事業の達成状況 (22年度)

土づくり・減化学肥料・減化学農薬の3つの技術に取り組むエコファーマー(知事認定)の認定件数が大幅に増えてきており、消費者の安全志向に対応した環境保全型農業の推進が図られています。

基本事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度当初予算
トータルコスト(千円)	0	0	0
事業費(千円)			
人件費(千円)			

## 06 地産地消と消費者との交流

## 基本事業の目的

農業体験やイベント・産地直売所での消費者との交流を通じて、消費者に地元農産物について、より身近に感じてもらいます。

## 対象 (誰を対象とした指標か)

市民、農業者

## 意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

- 農業体験をする。
- 地元農産物活用、購入をする。
- イベントへの参画をする。

## 基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
農産物の購入にあたって、地元農産物を積極的に購入する人の割合	%	25.7	18.3	-		↗
イベントや直売所で地元農産物を購入したことがある市民割合	%	51.4	47.5	-		↗

## 基本事業の達成状況 (22年度)

成果指標は、隔年で全市的に実施されるアンケート調査によって把握するため、22年度は成果指標を確認できませんが、引き続き各種イベントなどへの積極的な参加を促進し、地元農産物のPRに努めていきます。

基本事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度当初予算
トータルコスト(千円)	11,804	9,330	14,113
事業費(千円)	1,016	1,270	1,894
人件費(千円)	10,788	8,060	12,219

# 主要事業一覧(施策別平成22年度予算)

◎は実施計画事業を、○は主な臨時費を示す。人件費B欄は、各事業へ703人(H22.1.1一般職員数)分を振り分けている。  
1人当たり平均単価8,328千円は「一般職総額5,871,246千円/705人(H22.4.1一般職員数)」で算出している。

(単位:千円)

政 策 施 策	主  な  事  業	事業費 A	A の 財 源 内 訳					主  な  内 容	人件費 B	総額 A+B
			国	道	市債	その他	一般財源			
02 明日につながる産業の振興										
01 都市型農業の推進										
	◎ 農業振興資金貸付事業	96,326				96,326		農業者の自立安定経営のための融資事業	2,082	98,408
	◎ 産学官連携畜産技術高度化促進事業	350					350	「江別市ホルスタインショウ」事業費補助	4,164	4,514
	◎ 合併処理浄化槽設置整備事業	4,371	1,449				2,922	浄化槽設置費に対する補助(10基)	4,164	8,535
	◎ ブランド化支援事業	750					750	「えぞ但馬牛」優良繁殖牛導入事業費等補助	4,164	4,914
	◎ 「食」と「農」の豊かさ発見実践事業	692				80	612	食育推進協議会開催、小中学校での食育に関する出前講座、農業体験学習事業費補助、市内農産物を活かした各種料理教室の開催	4,997	5,689
	◎ 都市と農村交流事業	844					844	都市と農村の交流推進のための協議会開催(「まち」と「むら」)、直売所・貸し農園・農産物加工品を活かした市民交流事業、グリーンツーリズム講習会開催、【拡大】札幌圏の親子を対象に農業体験ツアー実施	4,997	5,841
	◎ 次世代農業者支援融資利子補給費補助事業	361		361				農業経営継承者に対する資金の借入者への利子補給	833	1,194
	○ 生産調整円滑化推進事業	1,002				1,002		米の生産調整に係る現地確認調査等	1,666	2,668
	○ 農業振興地域整備促進事業	41				41		農振整備計画の状況調査、変更手続	2,498	2,539
	○ 農業経営基盤強化資金利子補給事業	6,338		3,168			3,170	農業経営基盤強化資金借入者への利子補給	1,666	8,004
	○ 農地流動化対策利子補給拡大事業	484					484	農地取得に係る資金借入者への利子補給	833	1,317
	○ 経営基盤確立農業構造改善事業	6,821					6,821	江別市米乾燥調整施設建設費の一部補助	833	7,654
	○ 家畜排せつ物処理施設設置貸付事業	7,010				7,010		家畜排せつ物処理施設整備費融資事業	416	7,426
	○ 江別市肥育素牛導入資金貸付事業	1,280				1,280		優良肥育素牛の導入資金融資事業	416	1,696
	○ 畜産経営維持緊急支援資金利子補給事業	104		69			35	負債償還困難な経営体の借換え資金に対する利子補給	416	520
	○ 農地情報共有化支援事業	2,657	2,657					農地情報の共有化推進	416	3,073
	○ 合併処理浄化槽設置貸付事業	1,924				1,924		合併処理浄化槽設置に対する融資事業	416	2,340
	○ (仮称)小麦フェスタ助成事業	1,000					1,000	【新規】(仮称)小麦フェスタ開催補助	1,666	2,666
	○ 道央農業振興公社事業	6,118					6,118	運営経費負担金、担い手別の育成事業	1,249	7,367
	○ 農業経営基盤強化促進対策事業(農業委員会)	349					349	農地の流動化、利用集積	5,830	6,179

# 主要事業一覧(施策別平成22年度予算)

◎は実施計画事業を、○は主な臨時費を示す。人件費B欄は、各事業へ703人(H22.1.1一般職員数)分を振り分けている。  
1人当たり平均単価8,328千円は「一般職総額5,871,246千円/705人(H22.4.1一般職員数)」で算出している。

(単位:千円)

政策 施策	主  な  事  業	事業費 A	A の 財 源 内 訳					主  な  内 容	人件費 B	総額 A+B
			国	道	市債	その他	一般財源			
	○ 農地保有合理化促進事業	72				72		農用地の利用集積促進(事務経費)	1,666	1,738
	○ 有害鳥獣駆除助成事業	166					166	農業被害拡大防止のためのアライグマ駆除に対する事業費補助	2,498	2,664
	○ 乳質改善促進事業	150					150	個体乳検査に対する事業費補助	2,082	2,232
	○ 畜産担い手育成総合整備事業	232,574				232,574		草地改良、施設整備等の実施による畜産担い手の支援経費	1,666	234,240
	○ 排水路維持管理経費	2,808					2,808	自治会等が実施する床涪い等に対する補助	1,666	4,474
	○ 基幹水利施設管理事業	30,419	9,150	9,000		12,035	234	揚水機場の管理経費	5,413	35,832
	○ 篠津運河流末工改修工事負担金	2,146					2,146	篠津運河工作物改修負担金	416	2,562
	○ 農地・水・環境保全向上対策事業	41,491					41,491	農村地域における農業施設等の維持・活性化活動のための負担金	4,997	46,488
	○ 国営造成施設管理体制整備促進事業	7,658		5,718			1,940	国営土地改良事業による造成施設(用水路、排水路、揚水機場)の維持管理事業費補助	2,082	9,740
	○ 土地改良事業償還負担金	16,928					16,928	土地改良事業(道営)償還負担金	416	17,344
	○ 国営土地改良事業負担金	24,991					24,991	国営土地改良事業償還負担金(南美原地区)	416	25,407
	○ 市有防風林整備事業	2,232					2,232	兵村防風林等の下草刈、枝払い、風倒木の処理	1,249	3,481

※平成22年度予算金額です。